

森林管理署長が語る
～福島県浜通りの国有林の特徴と見どころ～

令和5年6月

磐城森林管理署長 高塚慎司

1. はじめに

もっとも海に近い森林管理署。磐城森林管理署はどんな森林管理署なのかと聞かれたらこう答えます。なにしろ敷地から太平洋まで70mほど、歩いて1分かかりません。このような立地のため、東日本大震災のときは、津波で1階が浸水し業務用の車も多数流されました。

現在は海岸堤防ができ、庁舎から海は見えなくなりましたが、波の音と潮風で常に海を感じることができる、全国でも稀な森林管理署です。

庁舎は平成2年(1990年)に新築した旧富岡営林署庁舎を平成14年(2002年)に移築したもので、移築当時はリサイクル木造建築の見本としてマスコミの注目を集めました。庁舎には廃



磐城森林管理署庁舎



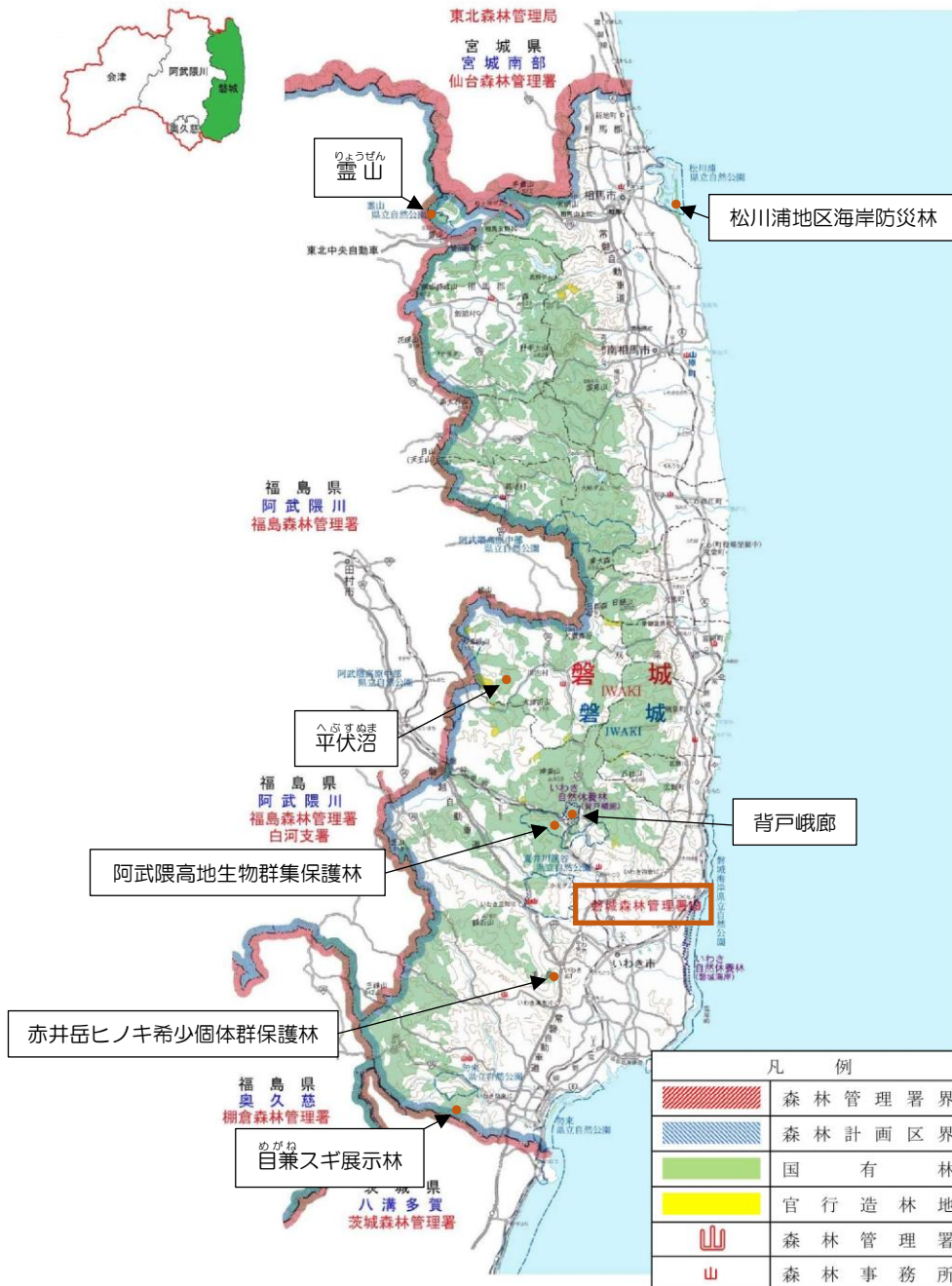
東日本大震災時の津波で流された車

止となった旧営林署の名残として、富岡のケヤキ、浪江の津島マツ、^{なこそ}勿来の^{めがね}目兼スギが使われています。特に津島

マツは、昭和25年(1950年)に建てられた浪江営林署の署長官舎に利用されていた板材を再利用したものです。現在も署長室の引戸として美しい姿を見せてくれています。



署長室にある津島マツの引戸



2. 国有林の概況

磐城森林管理署は、福島県東部のいわゆる「浜通り」の国有林、約 86,000 ヘクタールを管轄しています。東京ドームに換算すると 18,300 個分以上ですが、もはやイメージがわからないと思うので、香川県の約半分の面積と言った方がいいでしょう。

大部分が阿武隈山地に位置し主要河川の源流となっているため、水源地として重要な役割を担っています。

森林構成は、約 6 割がスギ、アカマツ、ヒノキなどの人工林、残り 4 割がモ

ミ、コナラ、クリを主体とする天然林です。

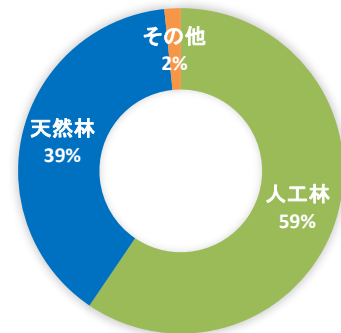
全国の国有林の人工林率は約 4 割なので、磐城森林管理署はかなり人工林割合の高い森林管理署なのです。

これはスギやアカマツの生育に適した環境だったため、明治期から積極的に造林が行われてきた結果と言えます。特にいわき市南部は雨量が多く、「目兼スギ」と呼ばれる銘柄材の産地となっています。現在でも明治期に造林した樹齢 123 年のスギを「目兼スギ展示林」として大切に管理



目兼スギ展示林

磐城森林管理署における人工林、天然林割合



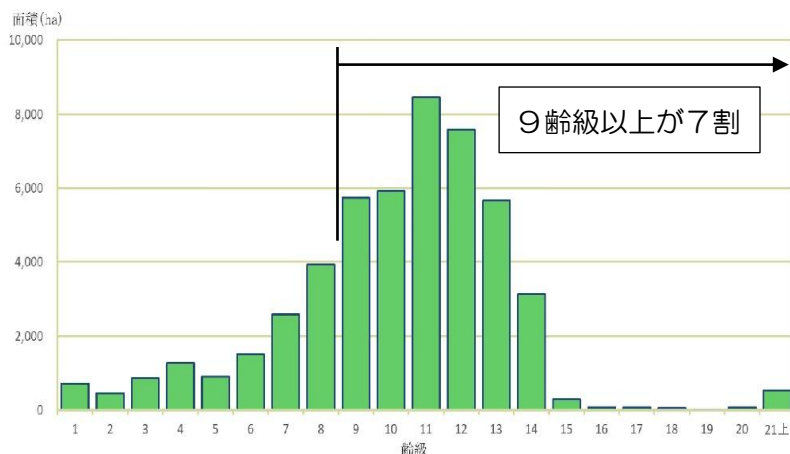
しています。

人工林の齢級構成は、4 齢級以下の若齢林が 1 割、間伐適期の 5～8 齢級が 2 割、利用期となった 9 齢級以上が 7 割となっています。ちなみに木の年齢は 5 年ごとに区切っていて、植えてから 1～5 年を 1 齢級、6～10 年を 2 齢級と数えます。

天然林は多くが一度伐採した後に生育した二次林ですが、所々に高齢のモミやクリ等が見られます。自然状態のまま大面積で残っているのが、夏井川渓谷の両岸に設定している「阿武隈高地生物群集保護林」です。面積は約 1,400 ヘクタールあり、JR 磐越東線の江田駅から川前駅間の車窓から重厚な天然林を見ることができます。

海岸付近ではクロマツを中心とする海岸林が分布しており、東日本大震災の津波で被災したところでは、海岸林の再生に取り組んでいます。

また、浪江町を中心に原発事故による帰還困難区域が設定されており、区域内の国有林は立ち入りが厳しく制限



管内人工林の齢級構成

されています。帰還困難区域以外でもいまだに放射線量が高く、間伐などの事業実行を見合わせているところもありますが、放射線量が基準以下に低下してきているところでは順次事業を再開しています。



阿武隈高地生物群集保護林



再生中のクロマツ海岸林

3. 磐城森林管理署の主な取組と課題

① 多様な森林づくり

利用期に達した人工林が多いため、水源かん養機能といった公益的機能の維持増進を図ること、齢級構成の平準化を進めることを目的に、多様な森林づくりを進めています。

具体的には、齢級のピークとなっている 10～12 齢級付近の人工林を対象に、モザイク状や帯状に小面積伐採し、面的に見て、齢級の異なる

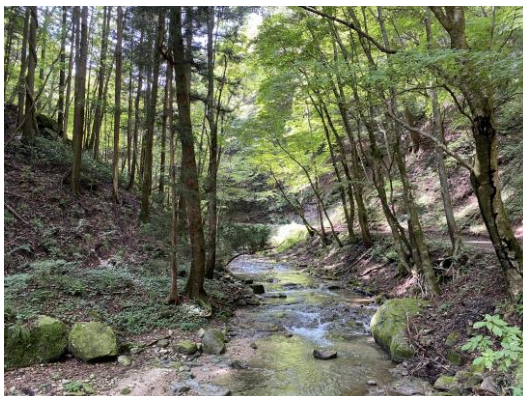


モザイク状の小面積伐採地

人工林や天然林が複雑に混ざり合うように誘導するというものです。

その際、広葉樹は極力残す、溪流沿いは溪畔林として残すなど生物多様性にも配慮するようにしています。

そして伐採後は苗木を植栽し



溪畔林

ています。植栽に当たっては、作業効率の高いコンテナ苗を用いるとともに、下刈り回数の削減等にも取り組んでおり、トータルでのコスト削減を目指しています。

② 木材の安定供給

多様な森林づくりを進める中で伐採した丸太は、再生可能な資源として、また地域振興の一環として有効活用することが求められます。

令和5年度（2023年度）は43,500 m³の丸太供給を予定しています。これは大型トラックで2,000台分以上にもなり、6月から翌年2月までの工期中、日中毎日1時間に1台の大型トラックが丸太を満載して山から製材工場等に運んでいる計算になります。



フォワーダでの丸太の運搬

近年は、バイオマス発電用として低質材のニーズが高まってきました。ニーズが高まること自体は好ましいのですが、価格の安い低質材をコストはかけずにいかに供給していくか、同時に生産される建築用等の一般材をいかに有利に販売するかが課題となっています。

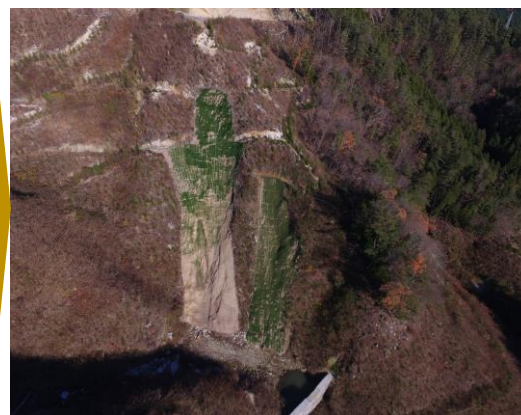
③ 災害からの復旧・復興

令和元年（2019年）の台風19号は覚えておられるでしょうか。そう、千葉県で大きな被害が出たあの台風です。いわき市内の国有林でも至るところで林地が崩壊し、国道や農地に土砂が流出しました。

このため、被災森林において、山腹の土砂の動きを抑える「山腹工」、流れた土砂を谷で止める「谷止工」といった治山事業を行っています。



山腹工施工前



山腹工施工後

このほか、東日本大震災で津波の被害を受けた海岸林を再生しています。特に大規模なのが砂州上の「松川浦地区海岸防災林」で、元の美しい松林に戻すべく、約 50 ヘクタールに 38 万本のクロマツを植えました。今後の保育（下刈や除伐など）が課題となっています。



松川浦地区海岸防災林

④ 再生可能エネルギーへの対応

日本のエネルギー政策の基本的な方向性を示す「第 6 次エネルギー基本計画」が令和 3 年（2021 年）10 月 22 日に策定され、風力発電を大幅拡大する方針が示されました。

磐城森林管理署管内では、現在 16 件もの風力発電事業が進行しており、早いところでは風車が立ちはじめています。国有林の有する公益的機能と調和を図りつつ、いかに風力発電事業を後押しして行くのが課題となっています。



国有林内に設置された風

4. 管内の見どころ

見どころは多数ありますが、国有林ならではの穴場的な場所をご紹介します。

① 霊山（相馬市）

東側は緩傾斜、西側は断崖という独特の地形となっていて、眺望が素晴らしい山です。一帯は霊山県立自然公園に指定されています。

「北の比叡山」とも言われ、比叡山延暦寺の「慈覚大師」によって貞観元年（859 年）開山。一時は 3,000 以上もの堂塔（勤行の場）や僧坊（生活の場）が山中に造られましたが、南北朝時代に南

朝の北畠顕家が山中の寺院を城



霊山山頂

として利用するようになり、その後、北朝方に破れたため、建物群はすべて焼失したという歴史があります。現在は至るところに建物跡が残っています。

② ^{へぶすぬま}平伏沼（川内村）

標高 800m ほどの山頂付近にある小さな沼で、モリアオガエルの生息地として国の天然記念物に指定されています。また一帯は平伏沼自然環境保全地域特別地区となっています。

流入、流出する川がないため平伏沼にはモリアオガエルの天敵となる魚がいません。梅雨に入って 10 日くらいたつと、水辺の木々に泡状の卵を見ることができます。車道から歩いて 5 分程度と気軽に訪問可能です。



平伏沼

③ 赤井岳ヒノキ希少個体群保護林（いわき市）

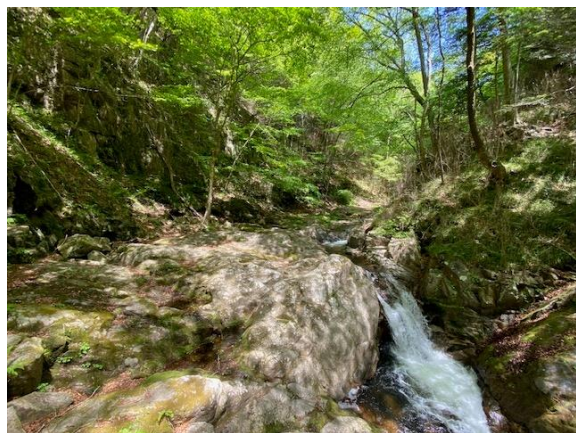
北限の天然ヒノキを保護している保護林です。ヒノキは鹿児島県の屋久島から福島県に分布する我が国を代表する針葉樹で、赤井岳付近が天然分布の北限とされています（常福寺社有林にも生育）。スギやアカマツと混ざってヒノキが生育しており、滝不動への道を歩く途中にも見ることができます。

④ ^{せどがろう}背戸峨廊（いわき市）

夏井川支流の江田川の溪谷で、いわき自然休養林となっています。

奇岩怪石をぬう急流と多くの滝が連続していて画廊のような風景ということで、詩人・草野心平が名付けたとされています。

令和元年（2019 年）の台風で奥地部分が通行止めとなっています。



背戸峨廊

5. おわりに

磐城署に来てまず思ったのは、とにかくスギが素直に成長しているということ。色もよく、スギの適地であることをしみじみと実感しました。

また、比較的温暖で雪がほとんど降らないため、ほぼ通年で山仕事ができるという気候に恵まれた地でもあります。加えて、植栽木等を食い荒らすシカがいない、ヤマビルがいないなど、全体的に見て全国トップクラスの林業適地と言えます。

このような恵まれた地で森林づくりができること、先輩たちの努力により利用可能な人工林が育っていること、地域の皆様や職員の方々に支えられていることに日々感謝しつつ、今後も多様で健全な森林づくりに取り組んでいきたいと考えています。